

学校の教育目標 「自ら学び、心豊かでたくましい生徒の育成」

梅雨の長雨がが続いていますが、期末テストを終えた北中生は笑顔満開です。1学期の成長や課題を振り返りながら、これから夏休みまでの3週間を生徒と共に大切に過ごしていきたいと思います。

本号では、人権・同和教育基礎研修講演会を終えての生徒の振り返り（感想）の一部を紹介します。ご家庭や地域でも、人権について語り合うきっかけにいただければ幸いです。

## 人権・同和教育基礎研修 講演会(6/14)～多様性と人権～

元北中学校長である小笠原忠彦先生をお迎えし、「多様性と人権」と題してご講演いただきました。自分と違う部分も含めて相手の存在そのものを認める「Respect others（他者を尊重する）」の大切さなど、心に響くメッセージをたくさんいただきました。生徒たちが何を「知り、感じ、考えた」のか、振り返り（感想）の一部を紹介します。

- ・無意識の思い込みが相手を傷付け、差別を引き起こすことを学びました。私もどこかで無意識の思い込みをしていることがあるので、思い込みをなくして人のことを尊重したいです。（1年）
- ・日常生活に「尊重」を取り入れようと思いました。（1年）
- ・“リスペクトアザース”は自分の心の中からしか始まらない”という言葉が心に残りました。（1年）
- ・思い込んでいることはないか、一度自分を振り返ってみようと思いました。「知る」こと「感じる」こと「考える」こと「動く」ことを大切にしていきたいです。（2年）
- ・尊重とは、人のことを知り、助け合うことだと思います。差別のことを考え直したいです。（2年）
- ・自分が知らないだけ、目を向けようとしないだけで、差別はあると思います。目を背けずにきちんと向き合うことを大事にしたいと思いました。みんなが幸せになるために、自分が行動したいです。（2年）
- ・自分の「当たり前」や「思い込み」を相手に押し付けるのではなく、認め合い、尊重することで差別はなくなると思うので、家族にも共有したいです。（3年）
- ・私も、もしかしたら知らないうちに友達や家族を傷付けているかもしれないと思いました。言葉を使うときは、しっかりと頭で考えて発信したいと思いました。（3年）
- ・多様性についての新しい発見ができて、貴重な研修会になりました。今までの自分とこれからの自分を見直していこうと考えました。（3年）
- ・100年以上前の日本にも、リスペクト、人権尊重の考え方が存在していたことに改めて感心しました。そして、その考え方が全国に広がり、いろいろな人たちが差別と戦ってきたのだと思うと、考えるものがあるなと思いました。互いを尊重する心を広めるためには、まずは自分からです。（3年）



令和8年度  
生徒会スローガン

## 前人未到～80年目の挑戦～



### 生徒総会(6/26)

今年度の生徒会スローガンや、よりよい北中になるための提案等を各学級から出し合い、話し合いました。中心テーマとなった「生徒会申し合わせ事項の見直し」については、ジェンダーの視点で多様な意見が出され、貴重な問題提起となりました。これから、生徒協議会やリーダー研修会で協議を重ね、よりよい北中を目指す具体的な実践につなげていきます。



6月14日の講演会後には、北斗会によるリサイクルバザーが実施されました。多くのご協力をいただき、充実した活動となりました。役員・理事の皆様、保護者の皆様ありがとうございました。

